



(中) 研究開発センター デジタル基盤技術本部 VE
技術部 開発2グループ チームリーダー
有川知子 様 (2006年度 固体2級 合格)

(左) 同
清利麻耶 様 (2006年度 固体2級 合格)

(右) 同
朝長裕樹 様 (2006年度 固体2級 合格)

現在ご担当のお仕事について教えてください。

有川: 製品の設計当初から立ち上げまで、主にシミュレーションを通して、現場と協力して課題解決を行うのが、私たち VE 技術部の仕事です。

朝長: 扱う製品は様々ですが、やはりカメラ関係が多いですね。開発期間が比較的短めであるため、スピードと正確さが要求されます。

計算力学技術者資格を取ろうと思った理由は何ですか？

清利・朝長: 有川チームリーダーからの勧めです。

有川: はい、「皆で一緒に勉強してみない？」と声がけしました。私は FEM 解析のキャリアは 10 年以上あるのですが、慣れで漫然と日々の業務をこなしている気がしていたので、試験に挑戦することで、「経験が自分自身に本当に身についているか」ということを確認したかったのです。

朝長: 同じ部署に 3DCAD 試験を受験中の者がおり、職場的に資格取得の機運が高まっていたこともあります。

合格なされて、ご自身に何か変化はありましたか？

清利: 私はこの中で一番経験が少なくて、受験当時1年数ヶ月でした。ところがそんな私でも、ソフトというのは何となく使えてしまいます。この「何となく」が曲者で、解析結果は出るけれど、「何故そうなったのか」「この条件設定で良いのか」がピンとこない。従って結果にもいまひとつ自信が持てな

い。今回資格取得に向けて勉強することで、知識の足場が以前よりかなりしっかりしたと思います。

試験対策として、どのような学習を行いましたか？

朝長: 2週間に1度の勉強会を開き、標準問題集を1章ずつ進めました。各章には担当者を設けましたが、難しい問題については、皆で教え合って進めました。

受験にあたり、会社から支援・補助などありましたか？

清利: 付帯講習(技能編)の費用は、一般の講習会扱いで会社から出して貰いました。

有川: 当社には指定の資格を取得するとその受験料+ の報奨金を貰える制度があるのですが、計算力学技術者はまだこの制度の対象にはなっていないため、受験料は自己負担です。

これから計算力学技術者試験に挑戦される方へ、アドバイスをお願いします。

清利: 勉強することであやふやだった知識がきちんと整理されるので、必ず業務の役に立ちますよ。方法としては断然、勉強会がお勧めです！

有川: 標準問題集を使った勉強会は、余裕を持って試験の1年前からスタートするといいいと思います。問題集は結構なボリュームですからね。その年の標準問題集が出るのを待つよりも、先に過去問を使って対策を始めることをお勧めします。

ありがとうございました！ (取材日: 2008/2/15)